

(1) 橋脚巻き立て工

橋脚を鉄筋コンクリートで太くしたり、強度の高い素材を巻き付けることで地震で折れないように強い橋脚へ補強します。



高砂大橋（宮城野区）・施工前



高砂大橋（宮城野区）・施工後

(2) 落橋防止装置設置

地震によって橋桁がずれて、橋台・橋脚から落ちないように橋桁と橋台などを連結します。



高砂橋（宮城野区）・施工前



高砂橋（宮城野区）・施工後

(3) 縁端拡幅工

地震によって橋桁がずれて、橋台・橋脚から落ちないように橋桁との接する面積を拡大するため、橋台・橋脚の上面を鉄筋コンクリートや鋼製ブラケットを設置することにより拡幅します。



壇ノ原橋側道橋（泉区）・施工前



壇ノ原橋側道橋（泉区）・施工後

(4) 水平力分担構造設置

地震による水平力を制限し、橋桁が異常に移動して支承から外れることがないようにします。



新早坂下橋（泉区）・施工前



新早坂下橋（泉区）・施工後

(5) 支承取替工

支承は、橋梁上下部構造間に作用する荷重を伝達する重要な部材です。現行耐震基準に合致していない支承は、地震に強い支承に交換します。



福田自転車道橋（宮城野区）・施工前



福田自転車道橋（宮城野区）・施工後